

『笑顔いっぱい あいさついっぱい 元気いっぱい』の小鹿野小

校長 篠田 禎生

小鹿野小学校は、明治3年の学校開校以来、151年目の歴史と伝統のある学校です。かなたに両神山や武甲山を仰ぎ、学校周辺は豊かな自然に囲まれています。小鹿野歌舞伎をはじめとした特色ある文化に育まれた270名の児童が毎日元気に活動しています。

学校教育目標は **○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子**とし、「**高め合い 認め合い 楽しく学び合う 小鹿野小学校**」を目指す学校像としています。そして、具体的な育てたい児童像として、以下のような姿を目指しています。

- やさしい子・・・だれとでも仲良くでき、相手の気持ちのわかるやさしい子
- 明るい子・・・笑顔で元気に行動し、健康でたくましい子
- かしこい子・・・しっかり聞き、よく考え、表現し、自ら意欲的に学ぶ子

さて、学校で一番大切なものは何でしょうか。それは児童の「命」であると考えています。新型コロナウイルスの感染拡大など先が見えない不安もありますが、子どもたちの安心・安全を第一に考え、学校経営をしていきたいと思えます。

教育を進めるに当たっては、子どもたちのよさや可能性を引き出し、伸ばすことが大切です。そのために、一人一人の児童を大切に、よさを伸ばしていくことを基本に「『**笑顔いっぱい あいさついっぱい 元気いっぱい**』の小鹿野小」の具現化に向けて、教職員一丸となって取り組んで参ります。

「**教職への誇りと情熱をもち、子どもと真剣に向き合う教職員**」を目指す教師像として、今年度は、「**鹿小職員の自信と誇り**」を合い言葉としました。これは、職員一人一人が「**チーム小鹿野小**」の一員として高い意識を持ち、児童の指導・支援にあたってほしいという願いが込められています。児童の健やかな成長のために、教職員一同、精一杯取り組んで参りますので、皆様の小鹿野小学校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。